

令和5年度 事業計画の検討について

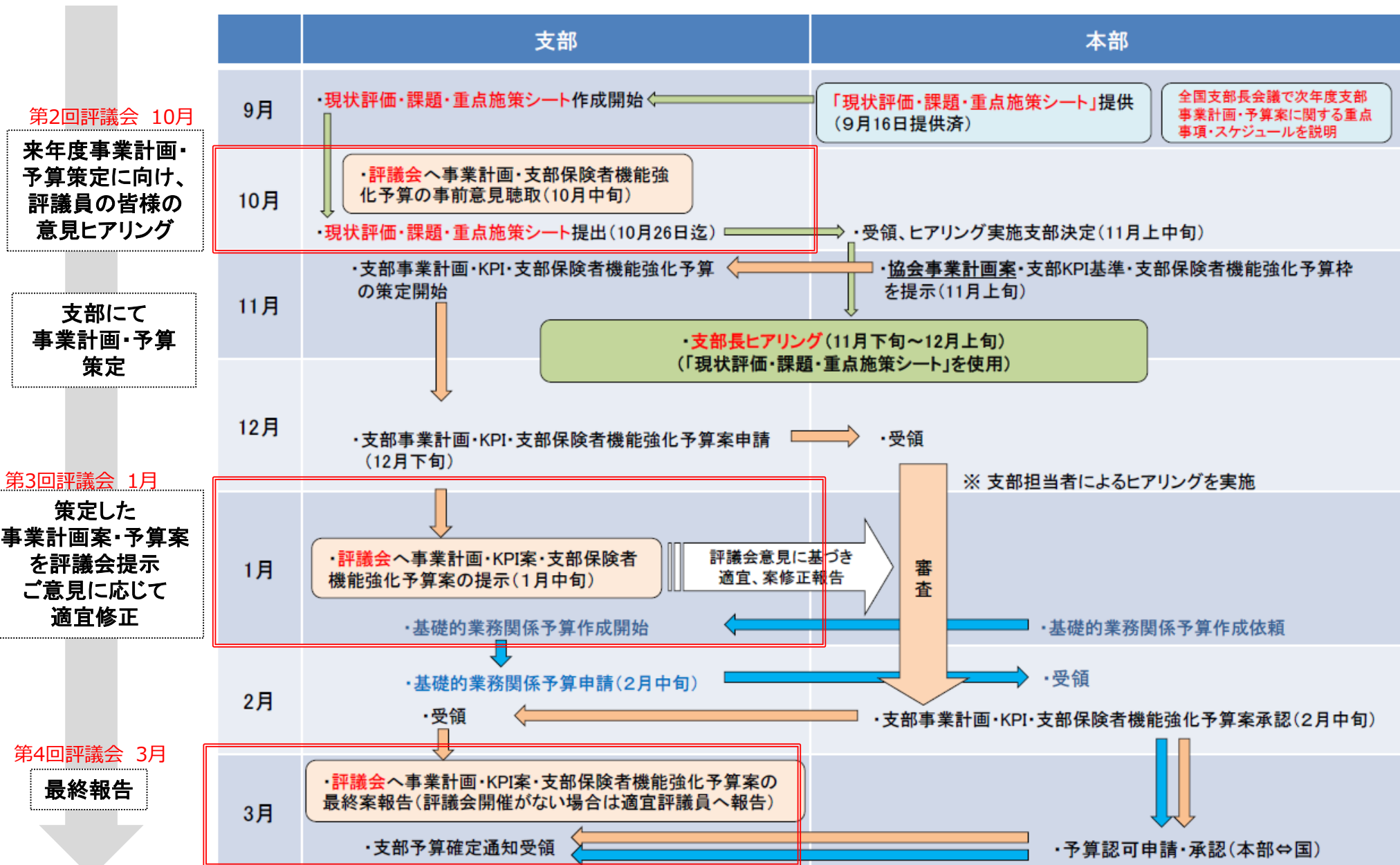
資料の趣旨

- 令和5年度に向けた事業計画・予算計画に関するスケジュールから、「現状評価・課題・重点施策シート」の作成」を起点とするフローに見直されることとなりました。
これは支部ごとの課題を本部・支部間で明確に共有し、課題の解決に向けて連携を強化するとともに、支部においてのエビデンスに基づく事業実施を目的にしています。
- 今までも福島支部では加入者の健康課題をお示しし、評議員の皆様のご意見を伺ったうえで、保険者機能発揮のためのより効果的な事業の企画立案を行ってまいりましたが、令和5年度に向けた事業計画・予算策定の前段として、今回も皆様にご意見を伺いたく存じます。

目次

- 令和5年度 支部事業計画・予算策定に関する全体スケジュール ……2
- (参考) 令和3年度第1回評議会でお示した福島支部の課題 ……3
- 福島支部の現状評価・課題・重点施策① ……4
- 福島支部の現状評価・課題・重点施策② ……8
- 参考資料 ……11

令和5年度 支部事業計画・予算策定に関する全体スケジュール



(参考) 令和3年度第1回評議会でお示した福島支部の課題

- 健診受診率、特定保健指導実施率は全国中位にあるものの、さらなる底上げが必要。
被扶養者の特定保健指導実施率は全国下位に位置する。
- 健康課題がおおむね全国下位に属し、とりわけ血圧・腹囲（男女とも）脂質（男性）、代謝（血糖高値）（女性）は全国ワーストに近い。生活習慣では喫煙・運動習慣が特に良くない状態。
地区別でみると、浜通りの健康課題が多い状況。
- 健康課題が多い一方で医療費はあまり高くない。今後、高齢化による医療費の伸びが見込まれるなかで、重症化により健康状態が悪化し、他県と比較して医療費が増大する可能性がある。
- 生活習慣病に関する1人当たり医療費が全国平均と比較して高め。
地区別でみると、浜通りのレセプト出現率（受診率）が高い。
男女別・業態別により傾向が異なる。

令和5年度 支部事業計画・予算策定に向けて
現状評価・課題・重点施策① 健診・生活習慣 編

福島支部の現状評価・課題・重点施策①

課題①	<p>◎入院・外来ともに一人当たり医療費は全国平均を下回るものの、「内分泌・栄養及び代謝疾患」「循環器の疾患」に関する外来の一人当たり医療費は全国平均を上回っている。</p> <p>・健診リスクでは全てのリスク保有率が全国平均を上回り、全体的に健康度は悪い状態だが、とりわけ「メタボリックシンドローム」「血压」「喫煙者」のリスク保有者が全国平均を大きく上回る。</p> <p>また、生活習慣病発症につながるリスク要因の「血压」「脂質」「代謝」について、業種別に見ると「総合工事業」はこれらのリスク全てが全国平均を上回り、かつ「喫煙者」が多い。</p>
------------	---

これまでの取組

全体的に健康状態が悪いことから、次の3つの取り組みを足場固め(基本事業)としつつ、年度ごとに次ページの取り組みを行ってきた。

基本①
特定健診受診率・
特定保健指導実施率
の向上に向けた取り組み

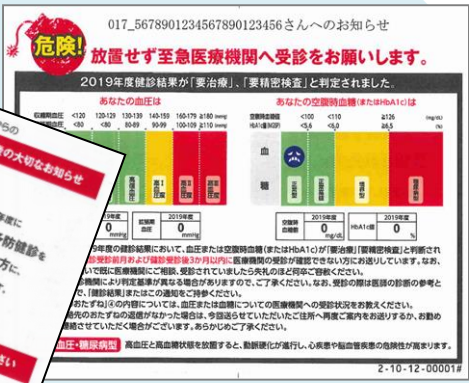
【被保険者】

- 健診機関が少ない地域における支部主催のバス健診開催
- オンライン面談による特定保健指導の実施

【被扶養者】

- 被扶養者を対象としたゼロ円健診開催
- ゼロ円健診会場での特定保健指導の同時実施

基本②
重症化予防



017_5678901234567890123456さんへのお知らせ

危険! 放置せず至急医療機関へ受診をお願いします。

2019年度健診結果が「要治療」「要精密検査」と判定されました。

あなたの血圧

収縮期血圧	拡張期血圧	平均血圧	判定
130	80	93	要治療
140	90	100	要精密検査

※必ず読んでご確認ください

**本部にて文書勧奨後、
支部保健師から電話にて
受診勧奨**

基本③
「健康事業所宣言」事業所の拡大

エントリーシート

当社は、下記の趣旨を踏まえ、健康事業所宣言を行います。

当社は、社員が心身ともに元気に働けるため、健康づくりメニュー①～④に取り組んでいます。

- 健康診断の実施**
法令に従い、社員に対して「定期健康診断」を実施します。
- 社員の生活習慣改善を支援**
協会けんぽのメタボに着目した「特定保健指導」を利用します。
- 検査・治療の推奨**
健診の結果等で、再検査や治療の必要があった場合、必要に応じて推奨します。
- 我が社の健康プラン**
令和 年 月 日


事業所住所
事業所名

宣言書

社員の皆様が心身ともに元気に働ける会社を目指して、健康づくりメニューへの取組みを宣言いたします。

株式会社 協会商事
代表取締役 協会 太郎

上記の事業所が、「健康事業所宣言」をしたことを証明します
令和3年10月1日



従業員の健康づくりに
取り組む
事業所の拡大

基本となる上記取り組みに加えて、支部の独自事業として次の取り組みを展開。

取組① 禁煙勸奨通知発送

令和3年度支部事業として、喫煙者を対象に禁煙勸奨通知30,000件を発送。

健診結果から推計した血管年齢・疾病発症確率を掲載し、行動変容を促すとともに、禁煙外来受診および禁煙のメリットを紹介。

● 事業評価

令和4年度健診結果（問診）データを活用し、令和5年度に検証予定。

喫煙のリスク、思う以上にあるんです

【あなたが心筋梗塞になるリスクは…】(今後10年間の発症確率)
 非喫煙者の約 1倍 ▶ 禁煙すると約 1/2倍
 急性心筋梗塞で入院すると | 入院: 約19日間(平均入院日数) | 費用: 約178万円(入院の平均医療費 ※3割負担)
 ※喫煙者は人口の1/3の急性心筋梗塞発症で患者から占めます(2020年、2021年)

【あなたが脳卒中になるリスクは…】(今後10年間の発症確率)
 非喫煙者の約 1倍 ▶ 禁煙すると約 1/2倍
 脳卒中(脳出血)で入院すると | 入院: 約28日間(平均入院日数) | 費用: 約225万円(入院の平均医療費 ※3割負担)

「自力」よりも確実。
あなたに合った禁煙方法があります

【お薬を飲んで一時的に禁煙 禁煙外来】 【より確実に止められる 禁煙補助剤】

禁煙のメリットも、思う以上にある

長年喫煙していても、禁煙によるメリットを十分に享受すること
 大きな病気だけでなく、日頃感じるちょっとした不調も、もしかしたら
 原因かもしれませんよ。

- 禁煙後 24時間～数日で… 味覚や嗅覚が改善し、食べ物がおいしく感じられるようになり、歩行が楽になります。
- 禁煙後 2週間～3か月で… 血流が回復し、肌の老化の進行が抑えられ、顔色が良くなり、肌の乾燥やしみが改善したりします。
- 禁煙後 1か月～ せきやたんが出なくなる、息切れがなくなるといった、呼吸器系の改善がみられます。スタミナ

取組② 出前講座の拡充

「健康事業所宣言」参加事業所数の拡大を図り、福島県内における健康経営の裾野を広げるとともに、事業所における健康づくり支援のため、年度ごとにサポート事業の見直しを図っている。

禁煙に関するセミナーの要望が複数あったことから、令和4年度は禁煙に関する2講座を追加し、全18種類の出前講座を提供中。

14 受動喫煙が引き起こす健康への脅威
 時間 60分 実施方法 オンライン・VOD・DVD
 喫煙のリスクや禁煙に関するヒントをご案内 禁煙セミナー
 喫煙は本人のみならず、身近にいるご家族や友人、会社の仲間にも受動喫煙という形で、身体へ様々な悪影響を及ぼします。受動喫煙を含めた喫煙のリスクと、禁煙のメリットを理解していただき、禁煙への第一歩を踏み出すヒントと方法をご案内します。

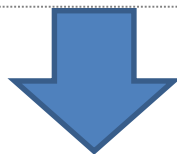
15 今すぐタバコをやめたくなる～COPD～
 時間 60分 実施方法 オンライン・VOD・DVD
 喫煙のリスク&禁煙のメリットと禁煙に関するヒントをご案内 禁煙セミナー②
 別名「タバコ病」とも言われるCOPD。(慢性閉塞性肺疾患)。COPDの基礎知識やセルフチェックをご案内します。喫煙のリスク&禁煙のメリットと禁煙に関するヒント、呼吸に関するエクササイズをご案内します。

これからの重点施策について

◎ 業態に特化した取組の強化

福島支部の健診受診率・特定保健指導実施率は全国中位にあり、引き続き底上げに取り組む。
また、今年10月からは血圧高値・血糖高値に加え、LDLコレステロール高値者に対する受診勧奨通知を開始し、重症化予防対策を強化。
高齢化に伴い、今後危惧される重症化リスクの軽減を図る。

加入者数が多く、分析により生活習慣病発症につながるリスク保有者が多い「総合工事業」に着目し、業界団体との関係構築を図り、会員事業所へ向けて、禁煙や重症化予防に対する理解を深めるための啓発活動を行うなど、業界団体と連携した活動を模索する。



評議員の皆様にご意見をいただきたいこと

課題①（P5）の改善ため、今までの取り組みを踏まえ、効果的と考えられる新たな事業の切り口や、今までの事業継続の適否について、ご意見をお願いします。

- 従業員、従業員の家族へどのように健診・保健指導の受診を働きかけるか
- どのようにすれば健診の重要性を理解し、ご家族へ健診・保健指導の受診を促せるか
- 事業所での禁煙対策をどのように進めていくか（どのような支障があると考えられるか）
- どのような媒体（ダイレクトメールや勤務先からの勧奨）による働きかけが効果的か
- 業態ごと（特に総合工事業（建設業））にアプローチを行うにはどのようにすれば効果的か

事業主の立場で・・・

被保険者の立場で・・・

学識経験者の立場で・・・

令和5年度 支部事業計画・予算策定に向けて
現状評価・課題・重点施策② 地域別 編

福島支部の現状評価・課題・重点施策②

<h2>課題②</h2>	<p>◎相双地区は県内で一人当たり医療費が高く、また、血圧・脂質・代謝リスク保有者が多い。</p> <p>福島県版健康データベース（FDB）事業による分析結果でも、他の地区と比較して相双地区の健康課題が多く、また、支部独自に分析した東日本大震災前後の健康リスクの推移からも、相双地区の健康度は震災後に急激に悪化している。</p>
--------------	---

これまでの取組

取組① 受診勧奨通知発送

令和4年度支部事業として、相双地区の健診受診者（令和2年度実績：約9,000名）のうち健康課題が多い者7,000名に対し、過去3年間の健診データより行動変容（医療機関受診勧奨・生活習慣の改善）を促す個別性の高いダイレクトメールを10月下旬に発送予定。

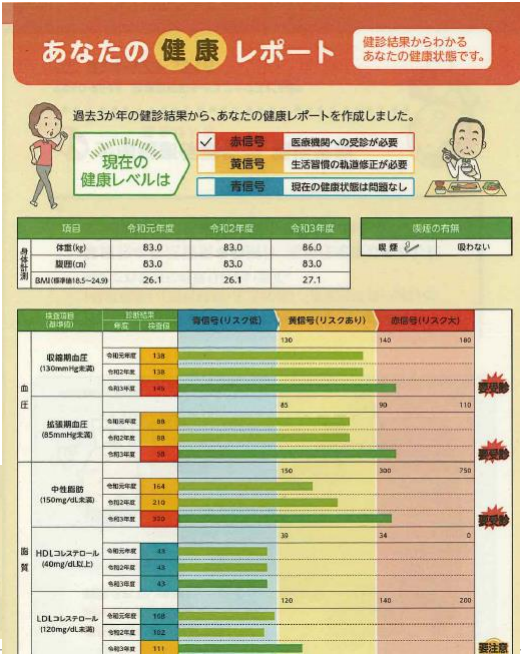
※重症化予防対策（P5基本②）の基準より緩やかな基準で幅広く対象者を選定。
重症化予防対策の対象者を除いて、通知発送。

●事業評価
福島県版健康データベース（FDB）および支部分析による二次医療圏別の健康リスクの推移（定点観測）により、健康課題（リスク保有割合）の推移を観察する。



このお知らせは、令和3年度の健診の結果、**血圧が「軽度異常」、「要再検査・生活改善」、「要精密検査・治療」と判定された方**にお送りしています。

健康的な生活習慣を心掛け、高血圧をはじめとした生活習慣病の発症や重症化を予防しましょう。



取組② 相馬市の公立小学校9校を対象とした健康教室の開催

2021年度の学校保健統計調査によると、「肥満傾向児※」の子どもの割合が福島県内5～17歳すべての年齢で男女ともに全国平均を上回っている。
 (※「肥満傾向児」・・・標準体重よりも20%以上重い子ども)

将来的な生活習慣病の発症リスクを回避するためには、「少年期からの適切な生活習慣を身に着けることが大切」との考えから、平成25年度から累計26校において小学生を対象とした健康教室を開催。

今年度は相馬市教育委員会へ提案の結果、相馬市内の公立小学校（全9校）を3年かけて健康教室を開催することとなった。

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	健康教室テキスト	
伊達市	・保原小 ・伊達小 ・五十沢小 ・梁川小	・保原小 ・伊達小						緊急事態宣言を受け、健康教室見合わせ。				
福島市			・大森小 ・第二小	・野田小 ・笹谷小	・松川小	・平野小	・平野小	代替として、いわき市教育委員会のご協力の下、いわき市(小学5年生～中学3年生)を対象に健康冊子を配布。	・荒井小	・荒井小		
郡山市		・開成小 ・薫小	・明健小 ・芳賀小	・桑野小 ・小野田小	・赤木小	・行健小	・富田西小		・喜久田小	・芳山小		
いわき市			・平第一小 ・好間第一小									
相馬市											・大野小 ・山上小 ・中村第一小	

健康教室テキスト



R5 3校
R6 3校
開催予定

これからの重点施策について

◎ 県や自治体と協力して、地域に特化した取り組みを模索する

相双地区の健康課題は福島県版健康データベースでも明らかで、協会けんぽだけではなく、国民健康保険・後期高齢者医療制度にも共通するものである。中長期の取り組みが必要であり、地域に特化した取り組みの機運醸成にむけて、福島県や自治体との協働による事業展開を模索する。



評議員の皆様にご意見をいただきたいこと

課題②（P9）改善のため、今までの取り組みを踏まえ、効果的と考えられる新たな事業の切り口や、今までの事業継続の適否について、ご意見をお願いします。

参考資料 ・現状評価シート

・特定健診データ分析報告 2020-2021

・令和元年度 福島県版健康データベース (FDB)報告書

令和5年度 戦略的保険者機能に関する 現状評価シート〔福島支部〕

＜「現状評価シート」の使用目的＞

自支部の課題を抽出するため、適用情報、医療費情報及び健診情報の観点から、自支部の現状を整理、評価する際に活用いただくためのシートです。

＜「現状評価シート」で出来ること＞

- 自支部の適用情報、医療費情報及び健診情報の主要項目の過去3か年分の時系列データを表形式で見ることができます。
- 医療費情報（1人当たり医療費、受診率、疾病分類別1人当たり医療費、業態別1人当たり医療費）及び健診情報（健診結果、問診結果）について、全国平均と比較した場合の自支部の地域差指数－1（※）を、表形式及びグラフ形式で視覚的に捉えることができます。
- 1人当たり医療費及び受診率、健診結果及び問診結果については、全国平均と比較した場合の自支部の市区町村別地域差指数－1（※）の高低を見ることができます。

（※）地域差指数－1とは、医療費等の地域差を表す指標として、1人当たり医療費等について、年齢調整し、全国平均を0として指数化したものであり、0より大きい数値であれば、全国平均より高い水準にあり、0より小さい数値であれば、全国平均より低い水準にあることを示しています。

福島支部の一人当たり医療費は、入院・外来・歯科ともに全国平均を下回っている

1. 適用情報

年度	事業所数	加入者数	被保険者数	被扶養者数	平均標準報酬月額
2019	35,648	675,888	420,906	254,982	271,508
2020	36,144	666,293	417,478	248,815	271,554
2021	36,892	658,158	415,495	242,662	273,895

2. 医療費情報

2-1. 医療費3要素(診療種別)

<総計(入院・入院外・歯科)>

年度	1人当たり医療費		受診率		1件当たり日数	1日当たり医療費
	年齢調整後	年齢調整後	年齢調整後	年齢調整後		
2019	181,908.7	177,671.1	8,053.6	7,949.1	1.52	14,834.9
2020	176,691.0	172,002.3	7,430.6	7,313.4	1.51	15,698.4
2021	189,043.6	183,807.7	7,891.3	7,761.2	1.50	15,992.0

<入院>

年度	1人当たり医療費		受診率		1件当たり日数	1日当たり医療費
	年齢調整後	年齢調整後	年齢調整後	年齢調整後		
2019	52,575.7	50,995.0	101.9	99.8	9.97	51,781.8
2020	49,796.5	48,062.7	93.7	91.3	10.01	53,113.4
2021	52,440.6	50,506.6	96.5	93.9	10.00	54,333.2

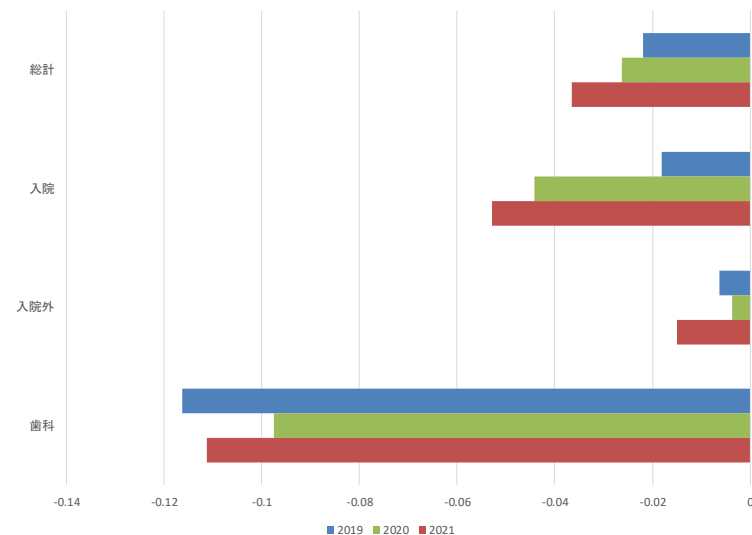
<入院外>

年度	1人当たり医療費		受診率		1件当たり日数	1日当たり医療費
	年齢調整後	年齢調整後	年齢調整後	年齢調整後		
2019	111,127.7	108,652.7	6,390.7	6,300.2	1.34	12,960.1
2020	107,871.2	105,105.9	5,811.1	5,708.3	1.33	14,003.1
2021	116,985.7	113,902.8	6,189.1	6,075.5	1.33	14,230.6

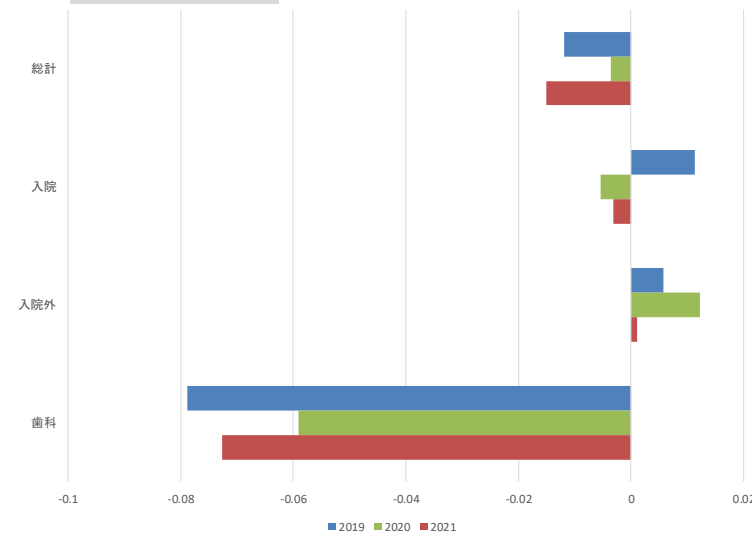
<歯科>

年度	1人当たり医療費		受診率		1件当たり日数	1日当たり医療費
	年齢調整後	年齢調整後	年齢調整後	年齢調整後		
2019	18,205.3	18,023.4	1,561.1	1,549.2	1.71	6,812.7
2020	19,023.3	18,833.6	1,525.9	1,513.7	1.71	7,276.4
2021	19,617.4	19,398.3	1,605.7	1,591.8	1.64	7,444.2

1人当たり医療費の地域差指数-1



受診率の地域差指数-1



福島支部 現状評価シート

2-2. 疾病分類別1人当たり医療費の地域差指数-1の寄与度(疾病分類が不明なものを除く。)

<入院>

年度	I 感染症及び寄生虫症	II 新生物	III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機能の障害	IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	V 精神及び行動の障害	VI 神経系の疾患	VII 眼及び付属器の疾患	VIII 耳及び乳腺突起の疾患	IX 循環器系の疾患	X 呼吸器系の疾患
2019	▲ 0.002	0.008	0.002	▲ 0.002	0.003	▲ 0.002	0.001	▲ 0.001	▲ 0.010	0.005
2020	▲ 0.003	0.002	▲ 0.003	▲ 0.004	0.005	▲ 0.003	0.001	▲ 0.000	▲ 0.008	▲ 0.003
2021	▲ 0.005	▲ 0.002	▲ 0.003	▲ 0.005	0.009	▲ 0.000	▲ 0.000	▲ 0.001	▲ 0.018	▲ 0.002

年度	X I 消化器系の疾患	X II 皮膚及び皮下組織の疾患	X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	X IV 腎尿路生殖器系の疾患	X V 妊娠、分娩及び産じょく	X VI 周産期に発生した病態	X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	X XX 特殊目的コード
2019	0.000	▲ 0.002	▲ 0.005	▲ 0.003	0.003	▲ 0.005	▲ 0.002	▲ 0.001	▲ 0.004	▲ 0.000
2020	0.000	▲ 0.001	▲ 0.008	▲ 0.005	0.006	▲ 0.010	▲ 0.007	0.001	▲ 0.003	▲ 0.000
2021	▲ 0.000	▲ 0.001	▲ 0.011	▲ 0.003	0.003	▲ 0.007	▲ 0.003	0.001	▲ 0.005	0.002

<入院外>

年度	I 感染症及び寄生虫症	II 新生物	III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機能の障害	IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	V 精神及び行動の障害	VI 神経系の疾患	VII 眼及び付属器の疾患	VIII 耳及び乳腺突起の疾患	IX 循環器系の疾患	X 呼吸器系の疾患
2019	▲ 0.007	▲ 0.001	0.001	0.009	0.004	0.002	▲ 0.005	▲ 0.000	0.026	▲ 0.003
2020	▲ 0.006	0.000	0.003	0.010	0.003	0.001	▲ 0.005	▲ 0.001	0.026	▲ 0.001
2021	▲ 0.009	0.001	0.002	0.006	0.003	0.000	▲ 0.005	▲ 0.001	0.024	▲ 0.001

年度	X I 消化器系の疾患	X II 皮膚及び皮下組織の疾患	X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	X IV 腎尿路生殖器系の疾患	X V 妊娠、分娩及び産じょく	X VI 周産期に発生した病態	X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	X XX 特殊目的コード
2019	▲ 0.007	▲ 0.008	▲ 0.002	▲ 0.006	▲ 0.000	▲ 0.000	▲ 0.000	▲ 0.001	▲ 0.005	▲ 0.000
2020	▲ 0.007	▲ 0.009	▲ 0.002	▲ 0.007	▲ 0.000	▲ 0.001	▲ 0.000	▲ 0.001	▲ 0.004	0.000
2021	▲ 0.007	▲ 0.010	▲ 0.003	▲ 0.007	▲ 0.000	▲ 0.001	▲ 0.001	▲ 0.002	▲ 0.004	▲ 0.000

※1 地域差指数は年齢調整後のものである。

※2 疾病が不明のものは掲載していないため、各疾病の地域差指数-1の寄与度の合計は診療種別(入院・入院外)の1人当たり医療費の地域差指数-1に一致しない場合がある。

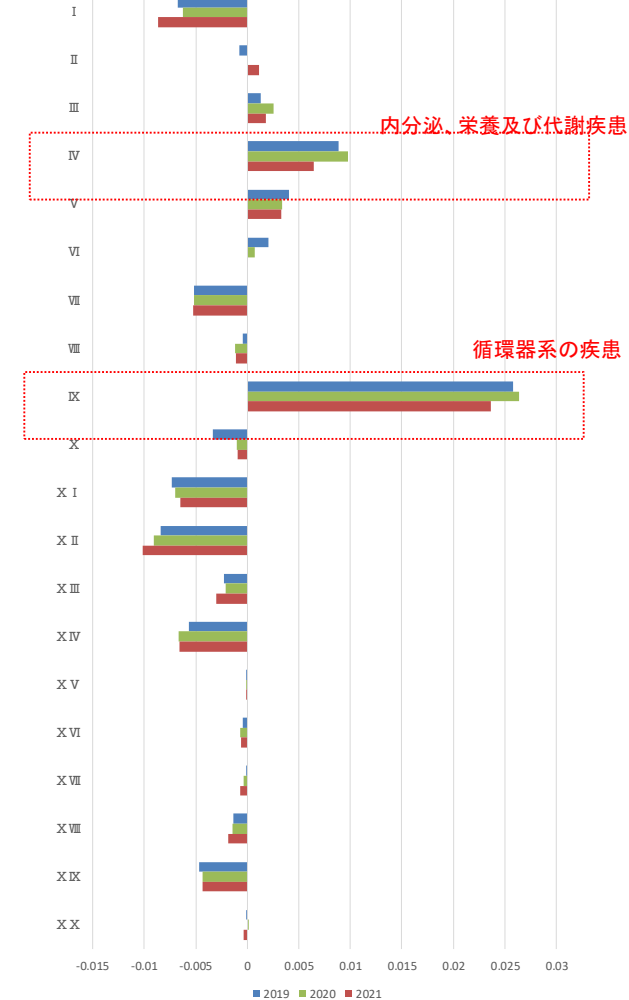
2-3. 診療時間外受診の加入者1人当たり算定回数の地域差指数-1

年度	初診	再診
2019	▲ 0.051	▲ 0.330
2020	▲ 0.144	▲ 0.349
2021	▲ 0.203	▲ 0.381

※ 地域差指数は年齢調整後のものである。

入院外の一人当たり医療費について、疾病別に見ると、「循環器系の疾患」に次いで、「内分泌、栄養及び代謝疾患」が全国平均より高い水準にある。

疾病分類別1人当たり医療費の地域差指数-1の寄与度(入院外)



福島支部 現状評価シート

2-5. 業態別1人当たり医療費の地域差指数-1の寄与度

＜入院＞		2鉱業・採石業・砂利採取業	3総合工事業	4職別工事業	5設備工事業	6食料品・たばこ製造業	7繊維製品製造業	8木製品・家具等製造業	9紙製品製造業	10印刷・関連産業
年度	農林水産業									
2019	0.001	0.001	0.024	0.023	0.009	▲0.008	0.001	0.004	▲0.002	▲0.002
2020	0.000	0.002	0.024	0.021	0.014	▲0.003	▲0.000	0.004	▲0.002	▲0.003
2021	0.001	0.001	0.025	0.016	0.009	▲0.007	0.002	0.002	0.000	▲0.003

年度	11化学工業・同類似業	12金属工業	13機械器具製造業	14その他の製造業	15電気・ガス・熱供給・水道業	16情報通信業	17道路貨物運送業	18その他の運輸業	19卸売業	20食料品以外の小売業
2019	▲0.001	▲0.004	0.006	▲0.004	▲0.001	▲0.006	▲0.006	▲0.015	▲0.009	0.012
2020	▲0.000	▲0.004	0.006	▲0.004	0.000	▲0.007	▲0.004	▲0.014	▲0.011	0.008
2021	0.001	▲0.008	▲0.008	▲0.002	▲0.001	▲0.006	▲0.001	▲0.013	▲0.008	0.005

年度	21食料品小売業	22無店舗小売業	23金融・保険業	24不動産業	25物品賃貸業	26学術研究機関	27専門・技術サービス業	28飲食店	29宿泊業	30対個人サービス業
2019	▲0.001	▲0.001	0.001	▲0.012	▲0.001	▲0.001	▲0.010	▲0.007	0.004	0.000
2020	0.000	▲0.002	▲0.001	▲0.015	▲0.003	▲0.001	▲0.010	▲0.008	0.001	▲0.000
2021	0.002	▲0.002	0.000	▲0.017	▲0.002	▲0.001	▲0.016	▲0.009	0.004	0.001

年度	31娯楽業	32教育・学習支援業	33医療業・保健衛生	34社会保険・社会福祉・介護事業	35複合サービス業	36職業紹介・労働者派遣業	37その他の対事業所サービス業	38修理業	39廃棄物処理業	40政治・経済・文化団体
2019	▲0.001	▲0.001	0.011	▲0.015	0.009	▲0.011	▲0.010	0.007	0.001	▲0.002
2020	▲0.002	▲0.002	0.012	▲0.014	0.004	▲0.013	▲0.009	0.000	0.003	▲0.001
2021	▲0.002	▲0.003	0.010	▲0.014	0.007	▲0.015	▲0.008	0.002	0.000	▲0.001

年度	41その他のサービス業	42公務
2019	▲0.001	▲0.003
2020	0.003	▲0.003
2021	▲0.001	▲0.006

＜入院外＞		2鉱業・採石業・砂利採取業	3総合工事業	4職別工事業	5設備工事業	6食料品・たばこ製造業	7繊維製品製造業	8木製品・家具等製造業	9紙製品製造業	10印刷・関連産業
年度	農林水産業									
2019	0.001	0.001	0.025	0.021	0.013	▲0.006	0.001	0.002	▲0.001	▲0.001
2020	0.001	0.001	0.026	0.020	0.013	▲0.006	0.002	0.003	▲0.001	▲0.002
2021	0.002	0.001	0.026	0.018	0.014	▲0.006	0.002	0.003	▲0.001	▲0.002

年度	11化学工業・同類似業	12金属工業	13機械器具製造業	14その他の製造業	15電気・ガス・熱供給・水道業	16情報通信業	17道路貨物運送業	18その他の運輸業	19卸売業	20食料品以外の小売業
2019	0.002	▲0.007	0.000	▲0.004	▲0.001	▲0.008	▲0.001	▲0.008	▲0.013	0.011
2020	0.003	▲0.007	0.001	▲0.004	▲0.000	▲0.008	0.001	▲0.008	▲0.012	0.011
2021	0.003	▲0.007	0.001	▲0.005	0.000	▲0.008	▲0.001	▲0.008	▲0.014	0.011

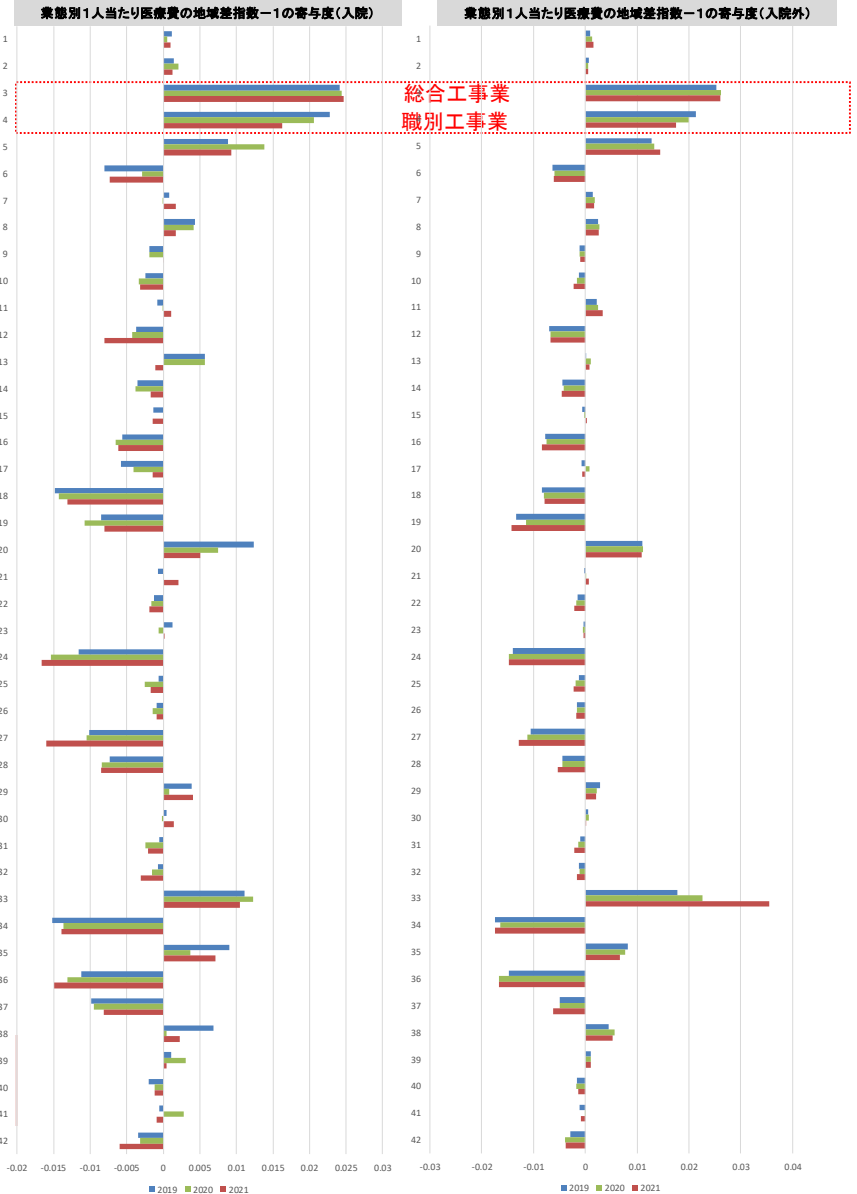
年度	21食料品小売業	22無店舗小売業	23金融・保険業	24不動産業	25物品賃貸業	26学術研究機関	27専門・技術サービス業	28飲食店	29宿泊業	30対個人サービス業
2019	▲0.000	▲0.001	▲0.000	▲0.014	▲0.001	▲0.002	▲0.011	▲0.004	0.003	0.000
2020	0.000	▲0.002	▲0.000	▲0.015	▲0.002	▲0.002	▲0.011	▲0.004	0.002	0.001
2021	0.001	▲0.002	▲0.000	▲0.015	▲0.002	▲0.002	▲0.013	▲0.005	0.002	0.000

年度	31娯楽業	32教育・学習支援業	33医療業・保健衛生	34社会保険・社会福祉・介護事業	35複合サービス業	36職業紹介・労働者派遣業	37その他の対事業所サービス業	38修理業	39廃棄物処理業	40政治・経済・文化団体
2019	▲0.001	▲0.001	0.018	▲0.017	0.008	▲0.015	▲0.005	0.005	0.001	▲0.002
2020	▲0.001	▲0.001	0.023	▲0.016	0.008	▲0.017	▲0.005	0.006	0.001	▲0.002
2021	▲0.002	▲0.002	0.036	▲0.017	0.007	▲0.017	▲0.006	0.005	0.001	▲0.001

年度	41その他のサービス業	42公務
2019	▲0.001	▲0.003
2020	▲0.000	▲0.004
2021	▲0.001	▲0.004

一人当たり医療費について、業態別に見ると、入院・入院外ともに「総合工事業」「職別工事業」が全国平均より高い水準にある。

※1 被保険者のみを集計対象としている。
 ※2 地域差指数は年齢調整後のものである。
 ※3 任意継続のもの及び業態が不明のものは掲載していないため、各業態の地域差指数-1の寄与度の合計は診療種別(入院・入院外)の被保険者1人当たり医療費の地域差指数-1に一致しない場合がある。



3. 健診情報

3-1. 健診受診率等

年度	生活習慣病予防健診受診率	事業者健診データ取得率	特定健診受診率	特定保健指導実施率	勤奨後3月以内受診率	コラボヘルス宣言事業所数
2019	58.8%	6.9%	27.6%	32.2%	10.7%	1,564
2020	58.1%	6.9%	22.3%	32.8%	10.9%	1,748
2021	61.1%	8.2%	26.9%	31.3%	11.0%	1,877

※「勤奨後3月以内受診率」の2021年度について、レセプトによる受診状況が確認できる2021年7月健診受診分(2022年1月発送分)までを集計対象としている。

3-2. 健診結果及び問診結果

年度	①メタボリックシンドロームのリスク保有率		②メタボリックリスク予備群の割合		③腹囲のリスク保有率		④血圧のリスク保有率		⑤脂質のリスク保有率	
		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1
2019	17.3%	0.118	13.6%	0.001	38.0%	0.029	46.5%	0.110	31.1%	0.081
2020	18.4%	0.109	13.8%	▲0.014	38.8%	0.021	48.5%	0.096	32.3%	0.080
2021	18.0%	0.098	13.8%	0.000	38.5%	0.019	48.7%	0.102	31.6%	0.073

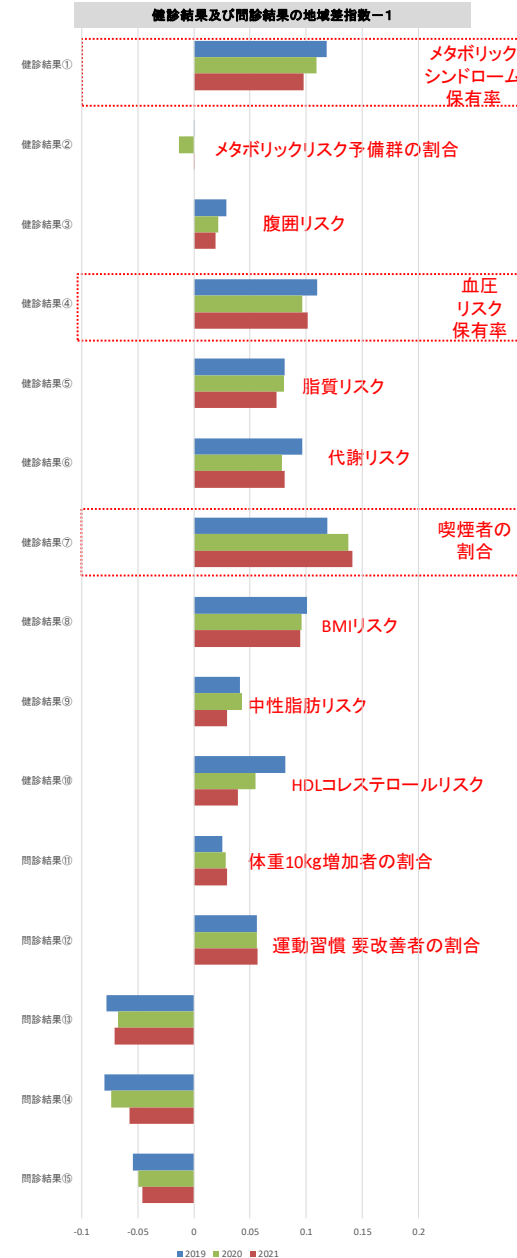
年度	⑥代謝のリスク保有率		⑦喫煙者の割合		⑧BMIのリスク保有率		⑨中性脂肪のリスク保有率		⑩HDLコレステロールのリスク保有率	
		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1
2019	16.5%	0.097	36.4%	0.119	34.1%	0.101	21.8%	0.041	5.7%	0.081
2020	16.5%	0.078	35.9%	0.138	35.4%	0.096	22.6%	0.043	5.7%	0.055
2021	16.8%	0.081	35.3%	0.141	35.2%	0.095	21.2%	0.029	5.4%	0.039

年度	⑪体重10kg以上増加者の割合		⑫運動習慣要改善者の割合		⑬食事習慣要改善者の割合		⑭飲酒習慣要改善者の割合		⑮睡眠で休養が取れていない者の割合	
		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1
2019	42.4%	0.025	73.9%	0.056	50.2%	▲0.078	12.9%	▲0.080	38.2%	▲0.054
2020	43.5%	0.028	73.6%	0.056	48.9%	▲0.068	12.5%	▲0.074	34.8%	▲0.050
2021	43.7%	0.030	73.1%	0.057	49.1%	▲0.070	12.2%	▲0.057	35.2%	▲0.046

※1 生活習慣病予防健診及び事業者健診の健診結果及び問診結果を集計対象としている。

※2 地域差指数は年齢調整後のものである。

健診データをリスク別に分析したところ、福島支部加入者は①から⑮のすべてのリスクが全国平均を上回っている。特に、「メタボリックシンドロームのリスク保有率」、「血圧のリスク保有率」、「喫煙者の割合」が全国平均より高い水準にある。



福島支部 現状評価シート

3-4. 業態別血圧、脂質、代謝のリスク保有率の地域差指数-1の寄与度

<血圧のリスク保有率>

年度	1農林水産業	2鉱業・採石業・砂利採取業	3総合工事業	4職別工事業	5設備工事業	6食料品・たばこ製造業	7繊維製品製造業	8木製品・家具等製造業	9紙製品製造業	10印刷・同関連産業
2019	0.000	0.002	0.036	0.007	0.012	▲ 0.004	0.010	0.009	▲ 0.003	▲ 0.002
2020	▲ 0.000	0.002	0.033	0.007	0.011	▲ 0.004	0.009	0.006	▲ 0.002	▲ 0.002
2021	▲ 0.000	0.002	0.031	0.008	0.011	▲ 0.009	0.008	0.009	▲ 0.002	▲ 0.000

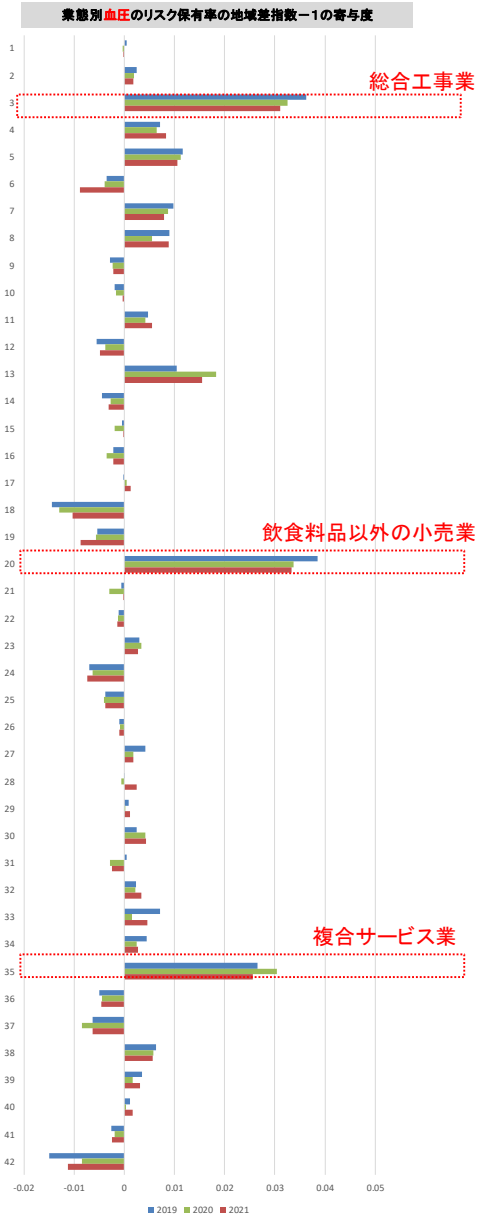
年度	11化学工業・同類似業	12金属工業	13機械器具製造業	14その他の製造業	15電気・ガス・熱供給・水道業	16情報通信業	17道路貨物運送業	18その他の運輸業	19卸売業	20食料品以外の小売業
2019	0.005	▲ 0.005	0.010	▲ 0.004	▲ 0.000	▲ 0.002	▲ 0.000	▲ 0.014	▲ 0.005	0.039
2020	0.004	▲ 0.004	0.018	▲ 0.003	▲ 0.002	▲ 0.004	0.001	▲ 0.013	▲ 0.006	0.034
2021	0.006	▲ 0.005	0.015	▲ 0.003	▲ 0.000	▲ 0.002	0.001	▲ 0.010	▲ 0.009	0.033

年度	21食料品小売業	22無店舗小売業	23金融・保険業	24不動産業	25物品賃貸業	26学術研究機関	27専門・技術サービス業	28飲食店	29宿泊業	30対個人サービス業
2019	▲ 0.001	▲ 0.001	0.003	▲ 0.007	▲ 0.004	▲ 0.001	0.004	0.000	0.001	0.002
2020	▲ 0.003	▲ 0.001	0.003	▲ 0.006	▲ 0.004	▲ 0.001	0.002	▲ 0.001	0.000	0.004
2021	▲ 0.000	▲ 0.001	0.003	▲ 0.007	▲ 0.004	▲ 0.001	0.002	0.002	0.001	0.004

年度	31娯楽業	32教育・学習支援業	33医療業・保健衛生	34社会保険・社会福祉・介護事業	35複合サービス業	36職業紹介・労働者派遣業	37その他の対事業所サービス業	38修理業	39廃棄物処理業	40政治・経済・文化団体
2019	0.000	0.002	0.007	0.004	0.027	▲ 0.005	▲ 0.006	0.006	0.004	0.001
2020	▲ 0.003	0.002	0.002	0.003	0.030	▲ 0.004	▲ 0.008	0.006	0.002	0.000
2021	▲ 0.002	0.003	0.005	0.003	0.026	▲ 0.005	▲ 0.006	0.006	0.003	0.002

年度	41その他のサービス業	42公務
2019	▲ 0.003	▲ 0.015
2020	▲ 0.002	▲ 0.008
2021	▲ 0.002	▲ 0.011

生活習慣病発症につながるリスク要因となる「**血圧リスク保有率**」について、業態別に全国平均との乖離を見ると、とりわけ「総合工事業」、「飲食料品以外の小売業」、「複合サービス」が全国平均より高い水準にある。



福島支部 現状評価シート

<脂質のリスク保有率>

年度	1農林水産業	2鉱業・採石業・砂利採取業	3総合工事業	4職別工事業	5設備工事業	6食料品・たばこ製造業	7繊維製品製造業	8木製品・家具等製造業	9紙製品製造業	10印刷・関連産業
2019	0.000	0.002	0.037	0.005	0.010	▲ 0.004	0.008	0.008	▲ 0.002	▲ 0.003
2020	0.000	0.002	0.032	0.004	0.010	▲ 0.003	0.009	0.005	▲ 0.002	▲ 0.001
2021	0.001	0.001	0.031	0.005	0.010	▲ 0.008	0.007	0.008	▲ 0.002	▲ 0.000

年度	11化学工業・同類似業	12金属工業	13機械器具製造業	14その他の製造業	15電気・ガス・熱供給・水道業	16情報通信業	17道路貨物運送業	18その他の運輸業	19卸売業	20飲食料品以外の小売業
2019	0.007	▲ 0.003	0.006	▲ 0.005	▲ 0.001	▲ 0.003	0.004	▲ 0.014	▲ 0.008	0.032
2020	0.005	▲ 0.002	0.019	▲ 0.002	▲ 0.002	▲ 0.006	0.004	▲ 0.011	▲ 0.006	0.031
2021	0.006	▲ 0.005	0.016	▲ 0.003	▲ 0.001	▲ 0.004	0.004	▲ 0.009	▲ 0.009	0.028

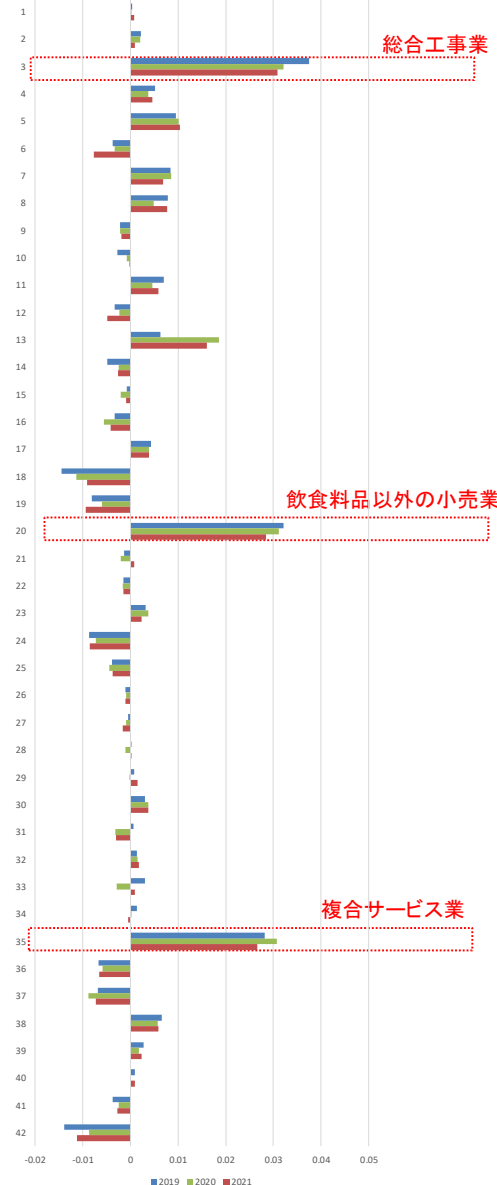
年度	21飲食料品小売業	22無店舗小売業	23金融・保険業	24不動産業	25物品賃貸業	26学術研究機関	27専門・技術サービス業	28飲食店	29宿泊業	30対個人サービス業
2019	▲ 0.001	▲ 0.001	0.003	▲ 0.009	▲ 0.004	▲ 0.001	▲ 0.000	0.000	0.001	0.003
2020	▲ 0.002	▲ 0.002	0.004	▲ 0.007	▲ 0.004	▲ 0.001	▲ 0.001	▲ 0.001	▲ 0.000	0.004
2021	0.001	▲ 0.002	0.002	▲ 0.008	▲ 0.004	▲ 0.001	▲ 0.002	0.000	0.001	0.004

年度	31娯楽業	32教育・学習支援業	33医療業・保健衛生	34社会保険・社会福祉・介護事業	35複合サービス業	36職業紹介・労働者派遣業	37その他の対事業所サービス業	38修理業	39廃棄物処理業	40政治・経済・文化団体
2019	0.001	0.001	0.003	0.001	0.028	▲ 0.007	▲ 0.007	0.007	0.003	0.001
2020	▲ 0.003	0.001	▲ 0.003	0.000	0.031	▲ 0.006	▲ 0.009	0.006	0.002	▲ 0.000
2021	▲ 0.003	0.002	0.001	▲ 0.001	0.027	▲ 0.007	▲ 0.007	0.006	0.002	0.001

年度	41その他のサービス業	42公務
2019	▲ 0.004	▲ 0.014
2020	▲ 0.002	▲ 0.009
2021	▲ 0.003	▲ 0.011

生活習慣病発症につながるリスク要因となる「脂質リスク保有率」について、業態別に全国平均との乖離を見ると、とりわけ「総合工事業」、「飲食料品以外の小売業」、「複合サービス」が全国平均より高い水準にある。

業態別脂質のリスク保有率の地域差指数-1の乖与度



福島支部 現状評価シート

<代謝₁のリスク保有率>

年度	1農林水産業	2鉱業・採石業・砂利採取業	3総合工事業	4職別工事業	5設備工事業	6食料品・たばこ製造業	7繊維製品製造業	8木製品・家具等製造業	9紙製品製造業	10印刷・同関連産業
2019	0.001	0.002	0.041	0.006	0.012	▲ 0.004	0.007	0.007	▲ 0.003	▲ 0.002
2020	▲ 0.001	0.002	0.035	0.005	0.009	▲ 0.007	0.006	0.004	▲ 0.002	▲ 0.000
2021	0.001	0.001	0.035	0.007	0.010	▲ 0.009	0.006	0.007	▲ 0.002	▲ 0.000

年度	11化学工業・同類似業	12金属工業	13機械器具製造業	14その他の製造業	15電気・ガス・熱供給・水道業	16情報通信業	17道路貨物運送業	18その他の運輸業	19卸売業	20食料品以外の小売業
2019	0.004	▲ 0.006	0.001	▲ 0.005	0.001	▲ 0.003	0.006	▲ 0.013	▲ 0.008	0.039
2020	0.004	▲ 0.003	0.013	▲ 0.003	▲ 0.002	▲ 0.003	0.004	▲ 0.012	▲ 0.007	0.035
2021	0.003	▲ 0.005	0.010	▲ 0.004	▲ 0.001	▲ 0.002	0.006	▲ 0.010	▲ 0.009	0.033

年度	21食料品小売業	22無店舗小売業	23金融・保険業	24不動産業	25物品賃貸業	26学術研究機関	27専門・技術サービス業	28飲食店	29宿泊業	30对个人サービス業
2019	▲ 0.003	▲ 0.001	0.002	▲ 0.007	▲ 0.004	▲ 0.001	0.004	▲ 0.001	▲ 0.000	0.004
2020	▲ 0.004	▲ 0.001	0.003	▲ 0.006	▲ 0.004	▲ 0.001	0.003	▲ 0.002	▲ 0.000	0.005
2021	▲ 0.000	▲ 0.001	0.002	▲ 0.008	▲ 0.004	▲ 0.001	0.003	▲ 0.001	▲ 0.000	0.004

年度	31娯楽業	32教育・学習支援業	33医療業・保健衛生	34社会保険・社会福祉・介護業	35複合サービス業	36職業紹介・労働者派遣業	37その他の対事業所サービス業	38修理業	39廃棄物処理業	40政治・経済・文化団体
2019	0.001	0.001	0.005	0.007	0.029	▲ 0.006	▲ 0.007	0.006	0.003	▲ 0.000
2020	▲ 0.003	0.002	▲ 0.001	0.001	0.032	▲ 0.007	▲ 0.010	0.005	0.001	▲ 0.001
2021	▲ 0.003	0.003	0.000	▲ 0.003	0.030	▲ 0.005	▲ 0.006	0.005	0.003	▲ 0.000

年度	41その他のサービス業	42公務
2019	▲ 0.003	▲ 0.015
2020	▲ 0.001	▲ 0.008
2021	▲ 0.002	▲ 0.012

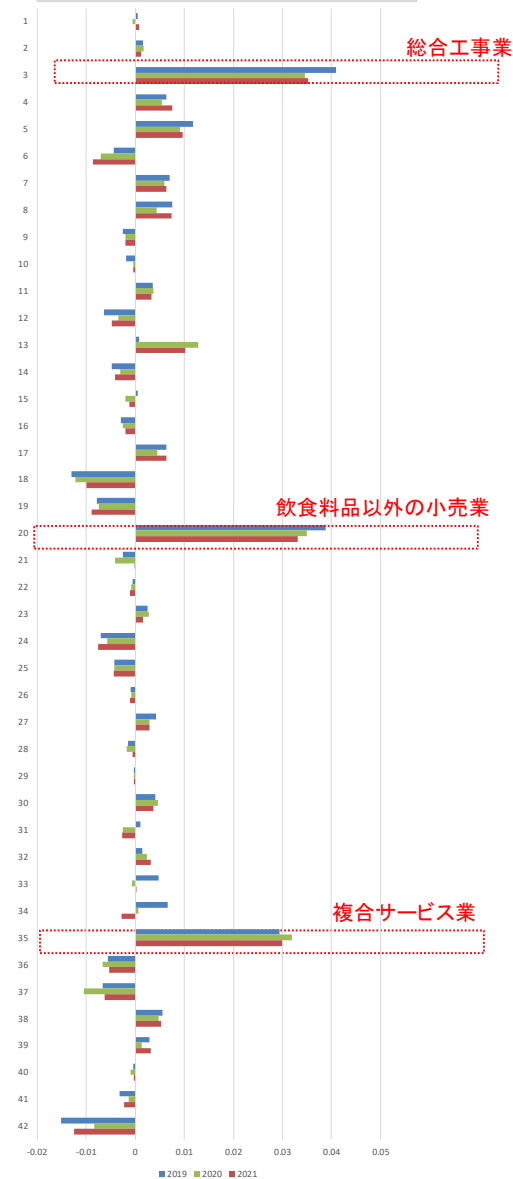
※1 生活習慣病予防健診及び事業者健診の健診結果及び問診結果を集計対象としている。

※2 地域差指数は年齢調整後のものである。

※3 任意継続のもの及び業態が不明のものは掲載していないため、各業態の地域差指数-1の寄与度の合計は血圧、脂質、代謝のリスク保有率の地域差指数-1に一致しない場合がある。

生活習慣病発症につながるリスク要因となる「代謝リスク保有率」について、業態別に全国平均との乖離を見ると、とりわけ「総合工事業」、「食料品以外の小売業」、「複合サービス」が全国平均より高い水準にある。

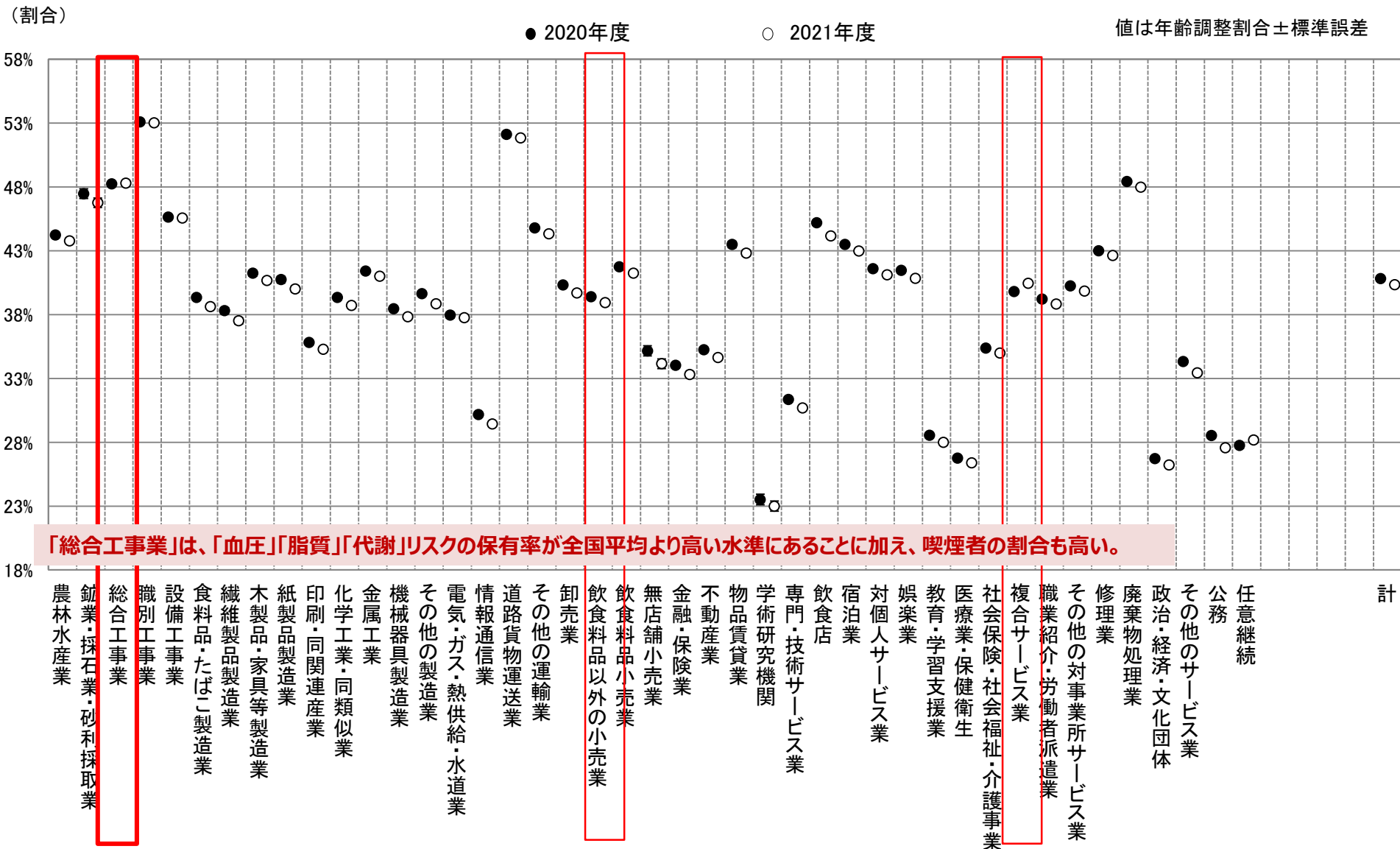
業態別代謝₁のリスク保有率の地域差指数-1の寄与度



健診結果及び問診結果の基準

項目	基準	項目	基準
①メタボリックシンドロームのリスク保有率	<ul style="list-style-type: none"> ・③かつ④～⑥のうち2項目以上に該当 ・分母は集計対象データ総数 	⑩HDLコレステロールのリスク保有率	<ul style="list-style-type: none"> ・HDLコレステロール40mg/dl未満 ・分母はHDLコレステロールの検査値のあるデータの総数
②メタボリックリスク予備群の割合	<ul style="list-style-type: none"> ・③かつ④～⑥のうち1項目に該当 ・分母は集計対象データ総数 	⑪体重10kg以上増加者の割合	<ul style="list-style-type: none"> ・分子は「20歳の時の体重から10kg以上増加している」に「はい」と回答した者の数 ・分母は上記に関する回答のあるデータの総数
③腹囲のリスク保有率	<ul style="list-style-type: none"> ・内臓脂肪面積が100cm²以上 ・内臓脂肪面積の検査値がない場合は、腹囲が男性で85cm以上、女性で90cm以上 ・分母は当該リスクの判定が可能なデータの総数 	⑫運動習慣要改善者の割合	<ul style="list-style-type: none"> ・分子は「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上1年以上実施している」、「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施」、「ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速い」に2問以上「いいえ」と回答した者の数 ・分母は上記に関する回答のあるデータの総数
④血圧のリスク保有率	<ul style="list-style-type: none"> ・収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上、または高血圧に対する薬剤治療あり ・分母は当該リスクの判定が可能なデータの総数 	⑬食事習慣要改善者の割合	<ul style="list-style-type: none"> ・分子は「人と比較して食べる速度が速い」に「速い」と回答、「就寝前の2時間以内に夕食をとること1が週に3回以上ある」に「はい」と回答、「朝食を抜くことが週に3回以上ある」に「はい」と回答、「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある」に「はい」と回答、これらのうち2項目以上に該当する者の数 ・分母は上記に関する回答のあるデータの総数
⑤脂質のリスク保有率	<ul style="list-style-type: none"> ・中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満、または脂質異常症に対する薬剤治療あり ・分母は当該リスクの判定が可能なデータの総数 	⑭飲酒習慣要改善者の割合	<ul style="list-style-type: none"> ・「お酒(日本酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度」に「毎日」と回答し、かつ「飲酒日の1日当たりの飲酒量」に「2～3号未満」「3号以上」と回答、もしくは「お酒(日本酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度」に「時々」と回答し、かつ「飲酒日の1日当たりの飲酒量」に「3合以上」と回答した者の数 ・分母は上記に関する回答のあるデータの総数
⑥代謝のリスク保有率	<ul style="list-style-type: none"> ・空腹時血糖110mg/dl以上、または糖尿病に対する薬剤治療あり ・空腹時血糖の検査値がない場合は、HbA1c 6.0%以上、または糖尿病に対する薬剤治療あり ・分母は当該リスクの判定が可能なデータの総数 	⑮睡眠で休養が取れていない者の割合	<ul style="list-style-type: none"> ・分子は「睡眠で休養が十分とれている」に「いいえ」と回答した者の数 ・分母は上記に関する回答のあるデータの総数
⑦喫煙者の割合	<ul style="list-style-type: none"> ・分子は「現在、たばこを習慣的に吸っている」に「はい」と回答した者の数 ・分母は上記に関する回答のあるデータの総数 		
⑧BMIのリスク保有率	<ul style="list-style-type: none"> ・BMI25以上 ・分母はBMIの値のあるデータの総数 		
⑨中性脂肪のリスク保有率	<ul style="list-style-type: none"> ・中性脂肪150mg/dl以上 ・分母は中性脂肪の検査値のあるデータの総数 		

喫煙者の年齢調整割合(男性、40-74歳)



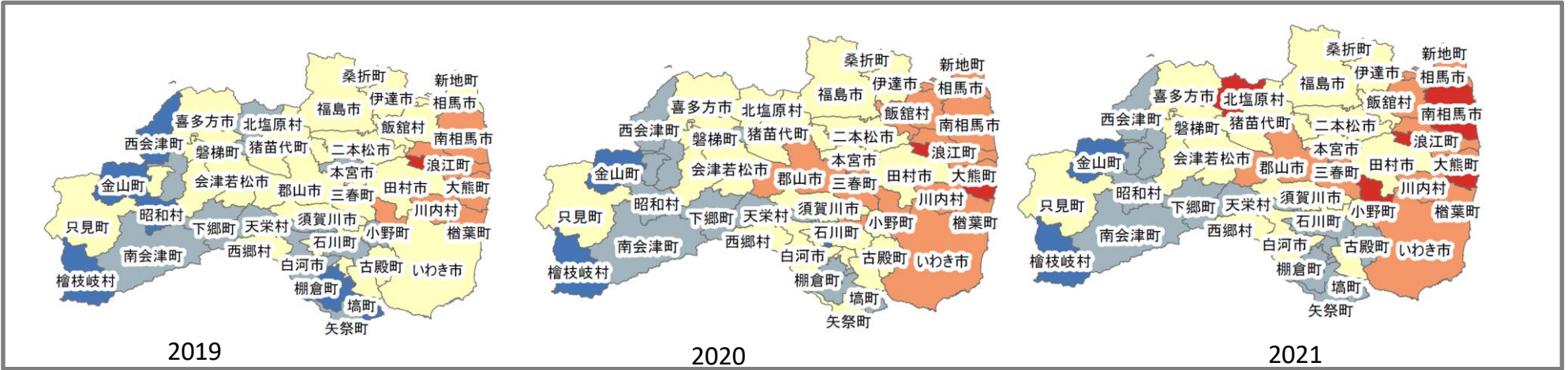
福島支部 現状評価シート

リスク低い

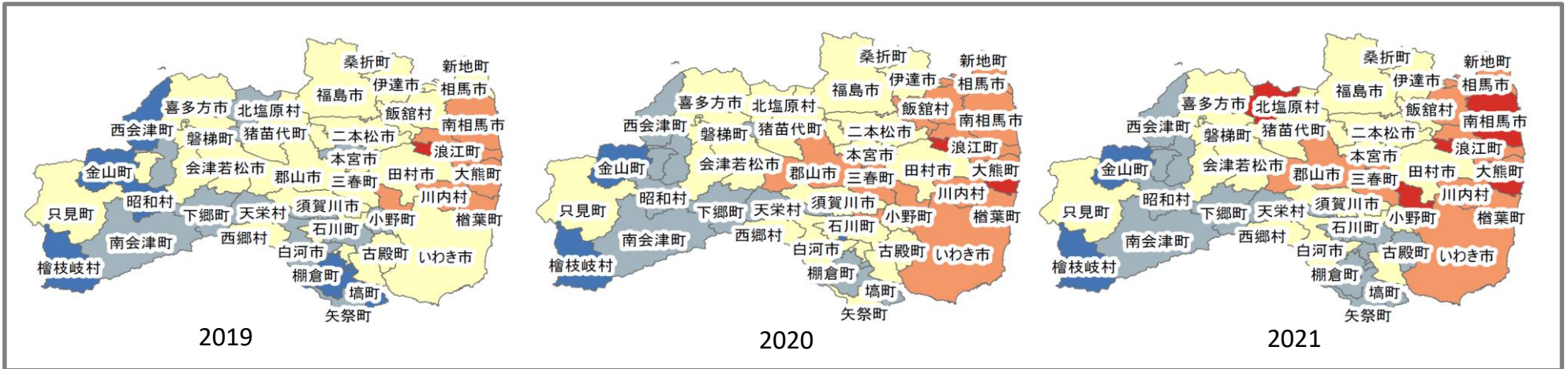
リスク高い



一人当たり医療費（入院外）



受診率（入院外）



令和3年度 福島県版健康データベース (FDB) 報告書

福島県版健康データベース (FDB) 報告書 (健診分) 状況一覧表

男性

メタボリックシンドローム等リスクと質問票の状況 (健診①)

項目	県北	県中	県南	会津・南会津	相双	いわき
メタボリックシンドローム判定	低い 93.68	低い 97.83	※低め 98.87	高い 101.39	高い 117.34	高い 103.35
メタボリックシンドローム予備軍判定	高い 102.69	※低め 99.31	※低め 98.94	※高め 100.13	低い 96.10	※低め 98.94
BMI 25以上	低い 94.55	低い 98.05	低い 96.85	高い 101.25	高い 113.90	高い 105.04
腹囲 基準値以上 (男性85cm、女性90cm)	低い 97.71	低い 98.56	低い 96.24	※低め 99.58	高い 108.81	高い 103.55
収縮期血圧 基準値以上 (130mmHg以上)	低い 94.50	低い 97.63	高い 103.16	高い 108.89	高い 105.32	※低め 99.12
拡張期血圧 基準値以上 (85mmHg以上)	低い 97.51	高い 101.93	※高め 101.11	高い 105.36	高い 111.87	低い 88.12
空腹時血糖 基準値以上 (100mg/dl以上)	低い 95.18	※低め 99.12	高い 104.93	高い 101.79	高い 112.90	低い 98.10
中性脂肪 基準値以上 (150mg/dl以上)	低い 96.73	低い 97.16	※低め 99.05	高い 106.50	高い 110.52	低い 97.98
HDLコレステロール 基準値未満 (40mg/dl未満)	低い 94.84	高い 102.06	※低め 97.88	高い 102.62	※低め 99.35	高い 104.39
血圧服薬あり	低い 97.87	※低め 99.34	低い 91.79	低い 98.66	高い 108.16	高い 105.58
血糖服薬あり	低い 92.01	※低め 99.78	高い 103.94	低い 92.89	高い 119.35	高い 108.44
脂質服薬あり	低い 94.68	※低め 99.40	低い 90.58	低い 95.26	高い 115.54	高い 111.05

- 指数は2016～2018年度の福島県の該当割合を100とした場合の出現比
- ※は福島県全体に対して標準化該当比に有意な差がないことを示す

福島県版健康データベース (FDB) 報告書 (健診分) 状況一覧表

女性

メタボリックシンドローム等リスクと質問票の状況 (健診①)

項目	県北	県中	県南	会津・南会津	相双	いわき
メタボリックシンドローム判定	低い 93.40	低い 96.24	高い 108.52	高い 103.41	高い 121.30	低い 95.38
メタボリックシンドローム予備軍判定	低い 94.90	※低め 99.78	※高め 102.25	高い 102.41	高い 108.08	※高め 100.37
BMI 25以上	低い 94.85	※低め 99.39	高い 102.67	※低め 99.43	高い 116.60	※低め 98.61
腹囲 基準値以上 (男性85cm、女性90cm)	低い 95.69	低い 98.24	※低め 97.83	※高め 101.63	高い 115.82	※低め 99.49
収縮期血圧 基準値以上 (130mmHg以上)	低い 95.33	低い 97.16	高い 104.82	高い 107.07	高い 104.54	※低め 99.63
拡張期血圧 基準値以上 (85mmHg以上)	※低め 99.07	※高め 100.22	高い 103.47	高い 104.98	高い 107.91	低い 88.42
空腹時血糖 基準値以上 (100mg/dl以上)	低い 96.46	※高め 100.06	高い 114.28	※低め 99.19	高い 112.81	低い 90.87
中性脂肪 基準値以上 (150mg/dl以上)	※低め 98.70	※低め 99.15	※高め 100.05	低い 95.70	高い 111.30	※高め 101.14
HDLコレステロール 基準値未満 (40mg/dl未満)	低い 89.51	高い 105.02	高い 108.46	※高め 103.06	高い 108.69	※低め 96.47
血圧服薬あり	低い 97.51	高い 101.54	低い 97.00	低い 96.16	高い 104.81	高い 104.61
血糖服薬あり	低い 95.80	※低め 99.56	高い 114.64	低い 85.91	高い 119.76	※高め 103.30
脂質服薬あり	低い 98.31	低い 97.93	低い 93.14	低い 98.01	高い 114.97	高い 102.08

- 指数は2016～2018年度の福島県の該当割合を100とした場合の出現比
- ※は福島県全体に対して標準化該当比に有意な差がないことを示す

福島県民の約7割 (協会けんぽ・国民健康保険・後期高齢者医療制度) の健康データを基に、福島県健康づくり推進課および福島県立医科大学健康増進センターが分析した福島県版健康データベース (FDB)においても、相双地区は様々なリスク保有率が高いことが分かっている。